

ペットの種類:チワワ 性別:メス 生年月日:12歳 体重:3.7kg

主訴:慢性膀胱炎

【症状の経過・状況】

1年前より膀胱炎で困っている。抗生物質を服用するとすぐに治る。治るが1か月経つとまた膀胱炎に罹ってしまう。動物病院の先生からの紹介により来局した。

食欲:異常なし 便秘:異常なし 尿:色は濃い 臭いもある

体力:あり 服用している薬:無し サプリメント等:無し

【考察】

慢性的な膀胱炎であり、解毒能力の低下と免疫力の低下が見られる。また、臭いと尿が濃いことから身体の中に熱が籠もっているとみられる。

【処方内容】

竜胆瀉肝湯 (合) 五淋散 (合) 十全大補湯を処方。

【経過】

服用2か月が経過。

膀胱炎の症状は無くなったが、病院で膀胱に結石があると言われたため、現処方に+化石草を処方。

服用3ヶ月が経過。

膀胱炎の症状は無し。結石が有るので、おしっこが出にくくなった。

処方内容に猪苓湯(合)牛車腎気丸を追加。

服用4ヶ月が経過。

血液検査の結果、肝臓の数値が悪く腹水が出てきた。

処方内容に猪苓湯(合)四物湯(合)田七・牛黄に変更。

服用5ヶ月が経過。

腹水は落ち着いてきた。同じ薬を30日分処方。

服用6ヶ月が経過。血液検査の結果、AST・ALTの値が良くなった。排尿障害も改善した。調子が良いので、同じ処方で経過観察。

その後

膀胱炎・肝機能・腹水・排尿の症状は良い状態を保っていた。しかし、今度は体の痒み・背中 of 辺りにテニスボール位の脱毛が出てきたため、処方変更。

竜胆瀉肝湯 (合) 五淋散 (合) 十全大補湯 (合) 猪苓湯 (合) 四物湯 (合) 十味敗毒湯 (合) 田七・牛黄

飼い主さんの希望もあり、薬は追加。漢方の生薬としては、重複しているものもあるが、粉の量を加減し調節。

その後は、この薬で安定し、その後も服用中。

【結果】

膀胱湿熱・気虚・血虚と判断して、漢方薬の服用を開始。

その後、結石を溶かす作用がある**化石草**・利尿効果がある**猪苓湯**・肝機能を良くする**田七と牛黄**・去風化湿の清熱解毒作用がある**十味敗毒湯**を追加した。結果的には症状が収まっている。

【反省点】

やはり、もっとシンプルな処方が良かったと思います。もしかしたら、以下のような構成でも良かったかも知れません。

五淋散 (合) 十全大補湯 (合) 猪苓湯 (合) 十味敗毒湯 (合) 田七・牛黄

[参考]

十全大補湯: 当帰・川きゅう・芍薬・熟地黄・白朮・茯苓・人参・桂皮・黄耆・炙甘草

四物湯: 当帰・川きゅう・芍薬・熟地黄

猪苓湯: 猪苓・沢瀉・茯苓・阿膠・滑石

十味敗毒湯: 荊芥・防風・柴胡・桔梗・川きゅう・茯苓・甘草・生姜・樸そく・独活